



市長日記

銀河をお出迎え

関西と山陰をつなぐ「WEST EXPRESS 銀河」。山陰コースの運行が5月から始まり、停車駅の安来駅でどじょうすくい出迎え隊の皆さんと共に乗客をおもてなしました。

おもてなしでは、出迎え隊による安来節の披露や、銀河仕様の清水羊羹とせんべいを販売。銀河の運行を契機に、観光需要の回復を期待しています。



◀乗客にどじょうすくい踊りを披露する出迎え隊の皆さん(5月10日)。



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



紹介します
出来事を
まちな話
とびくす

たうんとびくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



上の台緑の村で例年5月に行われるヒツジの毛刈り。毛刈りの間、ヒツジたちは気持ちよさそうに横になっていました。見学に来ていた子どもたちは、刈った羊毛を1つかみもらい、ふわふわとしたさわり心地を確かめていました。 5月15日：上の台緑の村



▲右から田中市長、永田会長。DVDは市内の小中学校や図書館などに配布されました。

伝統技術を映像化

広瀬絣技術保存会が5月2日、広瀬絣の制作工程を収録したDVDを安来市に寄贈しました。

この映像制作は保存会の永田佳子会長が広瀬絣(県指定文化財)のもつ手仕事の素晴らしさを後世に残そうと企画。糸に模様をつける「型付け」から、「括り」「染め」、織機を使っての「手織り」まで一連の工程を収録し、約1時間の映像に編集しました。

永田会長は「これから学ぼうとする人への道しるべとなれば」と話していました。この動画は保存会ホームページでも公開しています。

和鋼博物館企画展「日本遺産を巡る～安来・雲南・奥出雲 鉄づくり千年が生んだ物語」の開催に合わせて、5月3日から5日までの3日間、ギャラリートークが行われました。

会場では、日本遺産に認定された「たたら製鉄」に関連する金屋子神社や安来節など2市1町にある31の構成要素について、写真と解説のついたパネルやたたら絵巻のレプリカなどが展示されました。訪れた人は、解説を聞きながら展示物を鑑賞し、たたら歴史について思いを馳せていました。



▲5月3日に安来市のたたらに関する解説を行う和鋼博物館の荒川特別研究員(右)。

たたらが繋ぐ出雲国 いずものくに



人型ロボット着任

▲Pepperとプログラミングを行った情報科学高校の生徒（右から寺谷さん、宇山さん、山本さん）。※「Pepper」はソフトバンクロボティクスの商標です。

市役所の総合案内係で勤務するソフトバンクロボティクス株式会社の人型ロボットPepper（ペッパー）の着任式を5月24日、市役所で行いました。

着任式では田中市長がPepperへ辞令書を交付。情報科学高校の2年生3人がプログラミングしたPepperは身振り手振りを交えながら「市職員として一生懸命頑張ります」と着任のあいさつをしました。

市ではIT City Yasugi推進事業の一環で、Pepperを4台導入。今後、市役所安来庁舎1階総合案内のほか、市内小学校6校で活用する予定としています。

介護が必要な状態にならないように、運動、栄養、口腔のプログラムを提供し予防につなげようと、ふれあいプラザで5月10日から、安来市地域包括支援センター主催の令和4年度短期集中予防サービスが開始されました。第1クールの対象は伯太町の住民です。初回の10日は、5m歩行や握力測定といった身体機能などの測定を実施。参加した小林喜代美さんは「片足立ちの測定の結果が悪かったので、3カ月後の再測定までにバランスを改善し、家でも体操をして元気に過ごしたい」と話していました。



短期集中介護予防

▲体力測定を行う前に、スタッフと準備運動を行う参加者の皆さん。

宮中行事「新嘗祭」に献上する穀物を育てるため5月10日に宇賀荘町のほ場で、市内では14年ぶりとなる御田植式（田植え）が行われました。

田植えを行ったのは、奉耕者で清井町在住の岡田一夫さんと式典出席者ら30人。岡田さんが代表を務める農事組合法人ファーム宇賀荘の有機栽培米や有機JAS認証への取り組みなどが評価され、同法人の水田が県代表の献穀田に選ばれました。

岡田さんは「宮中に届けられるよう苗を大切に育て、米作りに励みます」と話していました。



宇賀荘で御田植式

▲10㌦の献穀田に「つや姫」の苗を植える岡田さん（左）と田中市長（右）。



豊かな心を音楽で

▲クラリネットの部品を減らしながら演奏を続けるパフォーマンスをする生出空士長。

音楽への意欲を高め、感受性豊かな心を育てようと、5月6日にアルテピアで市内の小中学生を対象に「子どもたちのための音楽鑑賞会」が行われました。総勢60人の航空中央音楽隊により、有名な曲を中心に手拍子で観客も参加する演奏などが行われ、子どもたちは楽しく音楽に聴き入っていました。

伯太中学校3年生で吹奏楽部部長の柳田さんは「パーカッション（打楽器）をしているので、ドラムの演奏に心を惹かれました。夏の吹奏楽コンクールに向けて頑張りたい」と話していました。

